# 鶴ヶ島市平和都市宣言」

# を制定しました

問合先 総務人権推進課 人権推進担当(内線355

定しました。けた平和への意志を表すため、「鶴ヶ島市平和都市宣言」を制大切さについて、あらためて見つめ直すとともに、将来に向大切さに、平和であることの尊さと、互いに支え合うことの市では、平和であることの尊さと、互いに支え合うことの

#### 新たな出発点

ひとつしかない命を大切にし、なりません。

うかたちで表しました。「鶴ヶ島市平和都市宣言」といの新たな出発点となるよう、めの新たな出発点となるよう、

#### 子どもたちの想い

す。

ジッセージが込められていまからの願いや想いといった熱いの未来を担っていく子どもたちの未来を担っていく子どもたち

市制施行20周年記念事業として市内の全小学校の6年生が参加して開催された「鶴ヶ島市子ども議会」では、将来にわたり夢や希望が持てるまちづくりの夢の希望が採択され、子どもたち自身が誓いをたてました。

#### 平和への決意

す。

「鶴ヶ島市平和都市宣言」は、
「鶴ヶ島市平和都市宣言」は、

際社会の一員であるという自覚今後は、市民一人ひとりが国

た。 恒久平和の実現に向け をもち、恒久平和の実現に向け

### 平和記念式典参加

「鶴ヶ島市平和都市宣言」制 「鶴ヶ島市平和都市宣言」制

## 鶴ヶ島市平和都市宣言

- 差別を絶対に許しません。わたしたちは、一人ひとりの命と人権を尊重し、いじめや
- ながら地域活動に積極的に参加します。 わたしたちは、地域の絆を深め、人を思いやり、助け合い
- 子どもからお年寄りまで安心して暮らせるまちにします。一わたしたちは、地域の人たちと協力して、犯罪や事故のない、
- 共生できるまちにします。 わたしたちは、自然を大切にし、緑を増やし、人と自然が
- す。 ている「原子力」のあり方についてみんなで考えていきま一 わたしたちは、目に見えない「放射能」という怖さをもっ
- る平和な社会をつくります。 一 わたしたちは、戦争と核兵器のない、誰もが幸せに暮らせ

故は、甚大な被害とともに、いくつもの教訓を残しました。平成23年3月の、東日本大震災と福島第一原子力発電所の事私たち鶴ヶ島市民は、この誓いを真摯に受け止めます。

らされました。ちされました。自然界に存在しない放射性物質の拡散が、私たてきたのです。自然界に存在しない放射性物質の拡散が、私た人は自然を支配できません。人はもともと自然と共に暮らし

たちの願いです。な争いである戦争と全ての核兵器が地上からなくなることは私な争いである戦争と全ての核兵器が地上からなくなることは私から明日が生まれ、争いによって希望は失われます。最も悲惨地域の絆は、今を生きる力の源です。支え合うぬくもりの中

現を目指す「平和都市」であることを宣言します。に向けて、ここ鶴ヶ島市が、安心して暮らせる平和な社会の実私たち鶴ヶ島市民は、世界の人々と未来を生きる子どもたち